



通信

HP 学校だより
R3. 8. 6
NO. 16
文責 伊藤美佳

《暑中お見舞い申し上げます》

夏休みが始まる前から猛暑が続いており、新型コロナウイルス感染症のみならず、熱中症も心配な日々が続いておりますが、豊坂学区の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。

夏休み始まってすぐに「東京オリンピック」が開催されました。テレビの前で連日観戦し、応援している豊坂っ子もいるのではないのでしょうか。試合中の真剣な眼差しや試合後に国を越えて称え合う姿。見ていて感動する場面がいつもありました。多くの選手が、「周囲の人々に支えられて」「自分一人ではなしえなかった」と発言していました。この夏休み、「おかげ」という言葉が、豊坂っ子にも降り注がれているのでしょうか。子供たちが、家族のために何か1つ責任をもって頑張っていたら、ぜひ、「あなたのおかげで」と伝えていただきたいです。家族に「一人前」と認められることは、子供たちの自信となり、新たな行動への活力となります。豊坂っ子が、たくさんの「自信」を身につけて、新しいことにチャレンジしてくれることを期待したいです。また、オリンピックの中でもいろいろな場面で「SDGs」について伝えられています。自分で考え、行動できる夏休みの時間をうまく使って、個々の学びが進むことを楽しみにしています。そして、20日の全校出校日には、笑顔いっぱいの豊坂っ子たちに会いたいです。

※1945年8月6日に広島へ、9日には長崎へ原子爆弾が投下されました。



「平和」について子供たちとともに考えていただければ幸いです。

～二十四節気 「立秋」8月7日～

夏休みが始まる前から猛暑が続いており、8月7日が「立秋」とは思えませんが、暦の上では秋が始まる日となります。「立秋」を過ぎてから「秋分」（9月23日）までの気温の高い状態を「残暑」と呼び、立秋から8月末までのなかなか終わらない暑さを見舞うはがきを出す場合は「残暑見舞い」となります。ということで、8月6日に出しているこの通信は「暑中見舞い」となります。（暑中見舞いは「小暑」（7月7日）から「立秋」まで）そういえば、書写の授業で「暑中見舞い」を書いていましたね。

★夏の深夜の星花火：ペルセウス座流星群★

今年のペルセウス座流星群の活動は、8月11日（水）の夜から13日（金）の夜までの3夜と予想されます。一番の見頃は8月12日（木）午後8時頃から13日（金）の夜明けです。前後2夜（11日、13日深夜）も観測できる可能性が高いです。ペルセウス座流星群は、全天にまんべんなく流れるのが特徴です。見つけにくい人は、北東の空（ペルセウス座あり・カシオペア座の近く）を中心に広く空を見てみてください。流星数は、のピークは、1時間に30～50個程度見ることができます。



8月8日が新月で、12日頃はほとんど月明かりの影響がないので観察するにはとても良い条件です。自然の星花火を見ることができたら、夏休みのすてきな思い出になりそうですね。